

様式第4号（第5関係）

活動結果報告書

28年8月10日越

前市議会

議長 城戸茂夫 殿

議員氏名 佐々木 哲夫 印

下記のとおり報告します。

日程 28年8月7日(日曜日)～ 月 日(曜日)

活動先 花筐公園

活動目的 はながたみ薪能

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

花筐公園で開催された、はながたみ薪能を鑑賞した。
歴史に裏打ちされた、優美ある薪能であり、地域の伝統を守ること
の大切さを再認識しました。

第十二回

新韻

A BOUT THE AUTHOR



開演 第一部 花筐物語 開演 午後5時 狂言トーク（お話し：野村萬斎）

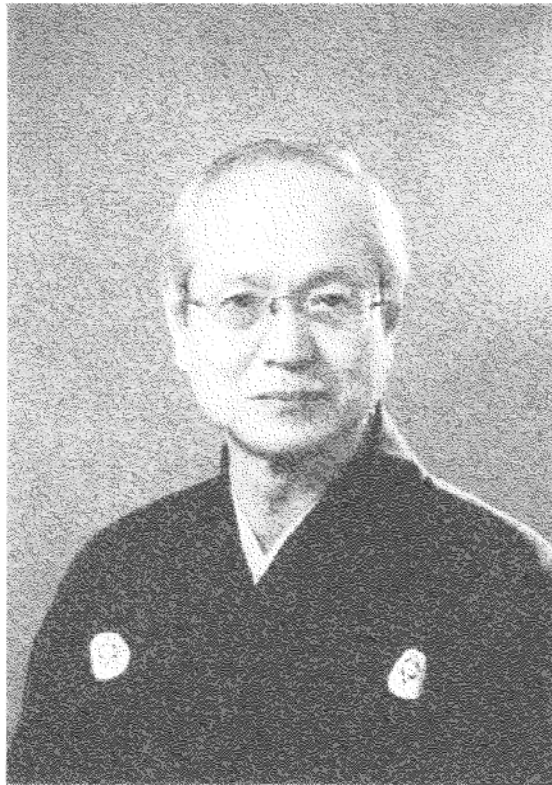
佐野弘宣

狂言「仏師」野村万作（人間国宝）
舞囃子「小督」大坪喜美雄
狂言「棒縛」野村萬斎
能「黒塚白頭」佐野由於

[illegible]

演者

野村萬齋



佐野由於



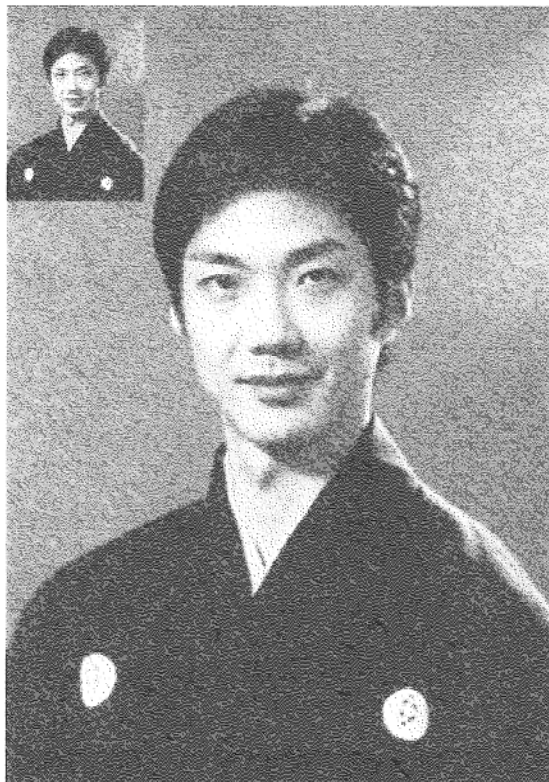
チケット

S席	5,500円
A席	3,800円

好評につきお早めにお求めください。

お求めは

和泉流能楽師



大坪喜美雄



野村万作

人間国宝 和泉流能楽師

様式第4号（第5関係）

活動結果報告書

28年8月25日

越前市議会

議長 城戸茂夫 殿

議員氏名

佐々木哲夫

印

下記のとおり報告します。

日 程 28年8月22日（月曜日）～ 8月23日（火曜日）

活動先 参議院会館の会議室並びに議員会館の県選出国會議員執務室

活動目的 国の政策研修会、並びに要請活動

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 （不足のときは、補助用紙を用いる。）

国の政策を学ぶために、関係省庁の担当より説明を聞き、質疑応答。

市の重要要望事項について、県選出の国會議員を議員会館に訪ね、

要請した。

会派未来の議員と県議による、国の政策研修会

平成28年8月22日・23日
参議院会館・会議室

8月22日 午後

I 内閣府

補正予算28兆円1,000億円の経済対策の趣旨と概要。越前市の取り組みへの指導

II 経済産業省

中心市街地活性化計画の全国の成功事例における、成功と失敗の事例検証

III 国土交通省

国の重要文化財に指定された紙漉き道具の収蔵庫整備に対する、国の支援のありかた

○参加者 (県議)関、(市議)福田、中西、小形、佐々木 以上5名



I 内閣府

補正予算28兆円1,000億円の経済対策の趣旨と概要。越前市の取り組みへの指導

☆説明者 横山&萩原
政策統括官付・政策企画専門職

・H28地方創生加速化交付金の概要と全国の自治体の取り組み状況の説明。
・これまでの創生交付金の全国的な取り組み状況と今後の留意事項の指導

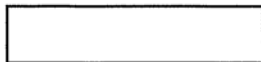


II 経済産業省

中心市街地活性化計画の全国の成功事例における、成功と失敗の事例検証

☆説明者 関:経済産業省・中心市街地活性化室室長補佐

・国内における中心市街地の取り組み状況、成功事例と失敗事例をもとにした検証について、詳しく説明を受けた。
特に、成功事例には、しっかりとした取り組みがあり、人材がいる事を改めて認識した。
また、越前市の取り組みについても、忌憚なく、非常に具体的な指導も受けた。



国土交通省

公共施設の耐震化への支援体制

☆説明者 山口:国土交通省 市街地住宅整備室 企画専門官

・地方公共団体が行う、建築物の耐震化改修事業に関する支援制度の概要を説明。
例えば、紙の文化博物館の耐震改修については、拡充も含め、国の支援を受けれる可能性があることの説明がある。

23日 午前

県選出国會議員への市の重要要望事項の協力要請活動

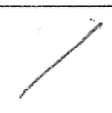
24日の午前中は、県選出国會議員の議員会館の部屋を訪れ、市が提案している『重要要望事項』について、議員又は政策秘書に書類を手渡し、特に力を入れている点を説明し、協力を要請した。

☆要請先

参議院 山崎議員、 滝波議員、山谷議員

衆議院 稲田議員、高木議員、山本議員、助田議員 以上7名

様式第4号（第5関係）

議長


活動結果報告書

平成28年12月7日

越前市議会

議長 堀内 茂夫 殿

議員氏名 佐々木 哲夫

下記のとおり報告します。

日程 平成28年11月17日(木曜日)～平成28年11月18日(金曜日)

活動先 東京千代田区 錦糸会館 パザエツ94

活動目的 21回 清溪セミナー参加

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

21回清溪セミナーに参加しました。参加内容及び
感想等について別紙添付報告書を添付します。

第21回 清溪セミナー 参加報告書

佐々木哲夫

平成28年11月17日(木)・18日(金)

東京・千代田区・主婦会館プラザエフ9階

私がかつて青年団活動をし、世話になった日本青年館が、事務局をし、全国各地の市議会議員有志が実行委員会を作って開催しているセミナーであり、今回で21回目の開催。内容も非常に良いものなので参加しました。

全国からの参加者は、運営者も含め120名。福井県からは、私一人。参加して、次年度は、ぜひとも、わが市議の皆さんにも声をかけたい！と強く感じました。

予想通り、2日間で、講座は6本。殆ど休憩なし。講師も参加された市議の皆さんに熱く語り、テーマも吟味されており、かつ、講師陣のレベルが非常に高く、講義の時間があっという間に過ぎていく感じでした。

講座(1) 児童虐待問題に切り込む～医療現場から見える課題

福岡県飯塚市にある飯塚総合病院において、児童虐待による子供の患者の医療を通じて、虐待を受けている子供の発見やその後の対処の在り方について、病院職員の奮闘と、市や県との連携の難しさについて、厳しい実態があり、解決に向けて大奮闘している報告を受けた。



講座2. 地方交付税制度の役割

7代の首相に仕えた内閣官房副長官で、地方交付税制度に精通している石原さんの講義も面白かった。高齢なのに、記憶が明快で、かつ、質疑応答にも手短で的確にこたえられる姿は、脱帽でした。参加の市議たちも、交付税参入の実態や、様々な交付金における、国の支援のありかたについて、質疑が沢山出た。

講座3. 特別講演: 今の政治を語る

テレビのコメンテーターとしてよく見た、福岡正行さんの話を聞いた。軽妙な語り口、かつ、ボランティア活動をはじめ、現場に密着した活動を展開してきた講師のみが語れる、毒舌と厳しい政治家の評価。

安倍首相の政策である、TPPや北方領土交渉の危うさ。その裏側や意図する内容などを詳しく説明され、いまの政治状況をどう見るか？について感動ある講演でした。

講師は、松下政経塾の運営に参画し、今日の政治家の在り方についても示唆のある話をされた。



講座4. 地域再生 行政に頼らないむらおこし…やねだんの取り組み

参加した市議会議員の大半の方々は、講師である『豊重：柳谷自治公民館長』の話聞きながら涙した！正直言って、目から鱗。こんなこと本当にあるか？と疑いたくなる話だが、事実だと思い知らされる。

鹿児島県の半島の先端に位置し、過疎と高齢化が劇的に進んだ柳谷の話で、300人程度のむらおこしの話し。しかし、ここには、自治の原点があり、こんな村なら住みたいと思わせるし、一旦、大学などで都会に出て行った子供たちが、子育てするのならこの村だと！帰ってくる。全国の村人たちがそう願うが、現実には全くそうでないが、このむらは実践している。

村の自立のために、耕作放棄地にサツマイモや唐辛子を植え、商品化を試み、焼酎や唐辛子の微粉化に成功し、韓国との商品開発もあり、事業は大成功。自治会費は取らず、老人会や壮年会や子ども会の活動に、村から活動費が出る。村人の子供やお年寄りたちが、日ごろから活動を共にし、支え合う。

講演を聞き、すぐにメールを送り、わが市にもお招きしたいと！翌週にあわら市に講演に行くとのメールに、早速、地域の仲間6人と聞きに行く。行った仲間も、凄い！こんな村にできたら！と大感激。越前市の市民自治推進課職員の加藤氏が、やねだんの人材育成塾に参加している。今後の活動に大きな期待をする。

講座5. 復興が日本を変える

復興庁事務次官で、災害からの復興に取り組んだ岡本全勝氏の講演。特に東日本大震災からの復興の取り組みや課題についての話は、非常に参考となった。

講座. 住民主体の津波防災まちづくり計画

静岡県牧之原の西原市長が、住民とともに作った津波災害のまちづくり計画の取り組みを聞き、耳を疑った。まさに、私が求めていた、住民が主人公のまちづくりを実践されていたからだ。この市長はほんまもんだと感じました。冷静に現実を見つめながら、住民が本当の意味でまちづくり計画に参画しないと、地に足がついた計画も実践もできないと、心からわかっている人が市長になったと感じた。久々ぶりにすがすがしかった。

第21回清溪セミナー参加者一覧

11月17日現在
追加・誤字修正分

	氏名	県名	議会の役職・主な所属委員会(各議会HPより)	清溪セミナー 実行委員会	参加回数	11/17 パーティ
32	先崎 光	茨城県	茨城県議会議員(文教警察委員会副委員長)			
33	椎塚 俊裕	茨城県	龍ヶ崎市議会議員(議会運営委員会委員長)		初参加	
34	坂本 純治	茨城県	大洗町議会議員(建設経済常任委員会副委員長)	前実行委員長		○
35	増田 豊	茨城県	桜川市議会議員(総務常任委員会)	監事		
36	中村 和彦	栃木県	真岡市議会議員(民生文教常任委員会)	副委員長		○
37	山崎 昌子	栃木県	宇都宮市議会議員(建設常任委員会委員長)	推進委員		
38	松井 秀明	群馬県	みなかみ町(元議員)	監事		○
39	吉田 つとむ	東京都	町田市議会議員(議長)	副委員長		○
40	山本 悟	石川県	能美市議会議員 (いじめ・虐待等社会問題対策特別委員会副委員長)		初参加	
41	佐々木 哲夫	福井県	越前市議会議員(教育厚生常任委員会)		初参加	
42	黒田 芳弘	岐阜県	本巣市議会議員(産業建設常任委員会副委員長)			○
43	若原 敏郎	岐阜県	本巣市議会議員(監査委員)			○
44	舟橋 よしえ	愛知県	日進市議会議員(市民建設常任委員会)			○
45	山田 久美	愛知県	日進市議会議員(市民建設常任委員会)		初参加	○
46	白井 えり子	愛知県	日進市議会議員(総務文教常任委員会)	委員長代行		○
47	東猴 史紘	愛知県	江南市議会議員(厚生文教委員会副委員長)			○
48	荒川 浩司	京都府	福知山市議会議員(総務防災委員会)	幹事		
49	石橋 英和	和歌山県	橋本市議会議員(経済建設常任委員会)			
50	杉本 俊彦	和歌山県	橋本市議会議員(総務常任委員会)			
51	楠本 知子	和歌山県	橋本市議会議員(議会運営委員会副委員長)		初参加	
52	森下 伸吾	和歌山県	橋本市議会議員(総務常任委員会)		初参加	
53	岡本 安弘	和歌山県	橋本市議会議員(文教厚生常任委員会)		初参加	
54	土井 裕美子	和歌山県	橋本市議会議員(副議長)			
55	板東 吉三郎	奈良県	田原本町議会議員(厚生建設常任委員会)		初参加	
56	胡摩田 弘孝	島根県	大田市議会議員(総務教育常任委員会)	推進委員		○
57	羽場 頼三郎	岡山県	岡山市議会議員(市民文教常任委員会)		初参加	○
58	宮田 公人	岡山県	高梁市議会議員(議会運営委員会副委員長)	副委員長		○
59	角田 俊司	広島県	廿日市市議会議員(産業厚生常任委員会)		初参加	
60	寺岡 公章	広島県	大竹市議会議員(議会運営委員会委員長)	幹事		
61	穴戸 稔	広島県	三次市議会議員(議会運営委員会副委員長)		初参加	
62	林 高正	広島県	庄原市議会議員(企画建設常任委員会)		初参加	○

第21回清溪セミナー参加者一覧

11月17日現在
追加・誤字修正分

	氏名	県名	議会の役職・主な所属委員会(各議会HPより)	清溪セミナー 実行委員会	参加回数	11/17 パーティ
63	八谷 文策	広島県	庄原市議会議員(教育民生常任委員会)		初参加	
64	徳永 泰臣	広島県	庄原市議会議員(企画建設常任委員会委員長)		初参加	○
65	五島 誠	広島県	庄原市議会議員(総務常任委員会委員長)		初参加	○
66	田中 貞男	香川県	東かがわ市議会議員(議長)	副委員長		
67	大平 敏弘	香川県	三豊市議会議員(総務教育常任委員会委員長)			○
68	平岡 政典	香川県	善通寺市長			
69	氏家 寿士	香川県	善通寺市議会議員(議長)			
70	寿賀崎 久	香川県	善通寺市議会議員(副議長)		初参加	
71	林野 忠弘	香川県	善通寺市議会議員(議会運営委員会委員長)			
72	大平 達城	香川県	善通寺市議会議員(総務常任委員会)			
73	大西 富士子	香川県	善通寺市議会議員(建設経済常任委員会委員長)			
74	金崎 大和	香川県	善通寺市議会議員(建設経済委員会)			
75	川向 武	香川県	善通寺市議会議員(総務常任委員会副委員長)			
76	安井 一博	香川県	善通寺市議会議員 (建設経済常任委員会副委員長)		初参加	
77	川田 礼子	香川県	さぬき市議会議員(総務常任委員会)	副委員長		○
78	森高 康行	愛媛県	愛媛県議会議員 (行政改革・地方分権特別委員会委員長)	推進委員		○
79	江口 徹	福岡県	飯塚市議会議員(厚生常任委員会)	副委員長		○
80	兼本 芳雄	福岡県	飯塚市議会議員(議会運営委員会副委員長)		初参加	○
81	梶原 健一	福岡県	飯塚市議会議員(総務常任委員会)			○
82	白倉 和子	佐賀県	佐賀市議会議員(文教福祉常任委員会)	副委員長		○
83	笹山 欣悟	熊本県	人吉市議会議員(経済建設常任委員会)		初参加	
84	豊永 貞夫	熊本県	人吉市議会議員(予算委員会委員長)		初参加	
85	照屋 仁士	沖縄県	南風原町議会議員(総務民生常任委員会) 日本青年団協議会会長			○
86	大矢 崇志	福岡県	(株)麻生飯塚病院小児科診療部長	講師		○
87	津村 由紀	福岡県	(株)麻生飯塚病院小児虐待防止委員会児童虐待 専門コーディネーター	講師		○
88	山野 淳子	福岡県	(株)麻生飯塚病院小児虐待防止委員会児童虐待 専門コーディネーター	講師		○
89	石原 信雄	群馬県	(一財)地方自治研究機構会長	講師		
90	福岡 政行	東京都	東北福祉大学特任教授	講師		○
91	豊重 哲郎	鹿児島県	鹿児島県鹿屋市串良町柳谷自治公民館長	講師		
92	岡本 全勝	奈良県	内閣官房参与 福島復興再生総局事務局長	講師		
93	西原 茂樹	静岡県	静岡県牧之原市長	講師		

第21回清溪セミナー参加者一覧

11月17日現在
追加・誤字修正分

	氏名	県名	議会の役職・主な所属委員会(各議会HPより)	清溪セミナー 実行委員会	参加回数	11/17 パーティ
94	山本 信也	大分県	(一財)日本青年館常務理事			○
95	佛木 完	大分県	(一財)日本青年館総務部長			○
96	江口 芳人	鹿児島県	(一財)日本青年館総務課長	事務総長		○
97	松尾 直泰	三重県	(一財)日本青年館総務課長補佐			○
98	小森 真知子	東京都	(一財)日本青年館総務課主任			○
99	早川 麻登	愛知県	(一財)日本青年館総務課係			
100	中山 篤	千葉県	(一財)日本青年館会計課課長補佐			
101	鳥澤 文彦	静岡県	日本青年団協議会事務局長			
102	武藤 快	岐阜県	早稲田大学政治経済学部・2年			
103	岡本 なつみ	東京都	早稲田大学教育学部・3年			○
104	関 俊雅	群馬県	早稲田大学文学部・3年			○
105	上原 稜啓	沖縄県	早稲田大学法学部・3年			
106	鬼海 裕倫	栃木県	早稲田大学政治経済学部・3年			
107	牧野 彩子	東京都	上智大学文学部・3年			
108	足立 優心	愛知県	早稲田大学部学部・2年			○
109	城戸 俊明	熊本県	早稲田大学政治経済学部・2年			
110	嵯峨 大輝	秋田県	早稲田大学人間科学部・2年			○
111	田尻 智哉	東京都	早稲田大学法学部・2年			○
112	平野 孝宗	埼玉県	早稲田大学人間科学部・2年			○
113	梅沢 日菜	東京都	早稲田大学文化構想学部・1年			○
114	尾崎 麻里	愛知県	早稲田大学政治経済学部・1年			○
115	佐々木 駿平	東京都	早稲田大学教育学部・1年			○
116	清水 陽	神奈川県	早稲田大学商学部・1年			○
117	高田 直樹	神奈川県	早稲田大学人間科学部・1年			
118	辻 健太郎	愛媛県	早稲田大学政治経済学部・1年			
119	藪田 千晶	滋賀県	早稲田大学法学部・1年			○
120	長山 尚史	茨城県	早稲田大学教育学部・4年			
					36	60

第21回清溪セミナー参加者一覧

11月17日現在
追加・誤字修正分

	氏名	県名	議会の役職・主な所属委員会(各議会HPより)	清溪セミナー 実行委員会	参加回数	11/17 パーティ
1	齋藤 伸彦	北海道	奥尻町議会議員(総務産業常任委員会委員長)		初参加	○
2	二瓶 秀幸	北海道	登別市議会議員(予算・決算委員会副委員長)		初参加	
3	合田 良雄	岩手県	釜石市議会議員(経済常任委員会)		初参加	○
4	渡辺 政巳	宮城県	丸森町(元町長)	副委員長		○
5	上田 勉	宮城県	東松島市議会議員(広報常任委員会委員長)		初参加	
6	小野 幸男	宮城県	東松島市議会議員 (産業建設常任委員会副委員長)		初参加	
7	大橋 博之	宮城県	東松島市議会議員(議会運営委員会委員長)		初参加	
8	小野 恵章	宮城県	東松島市議会議員(総務常任委員会委員長)		初参加	
9	菅原 節郎	宮城県	東松島市議会議員 (民青教育常任委員会副委員長)		初参加	
10	細矢 俊博	山形県	東根市議会議員(厚生常任委員会)		初参加	
11	白井 健道	山形県	東根市議会議員(経済建設常任委員会副委員長)	幹事		
12	高橋 鉄夫	山形県	東根市議会議員(厚生常任委員会副委員長)		初参加	
13	清野 忠利	山形県	東根市議会議員(総務文教常任委員会)		初参加	
14	永田 斉	山形県	酒田市役所市長公室調整監		初参加	○
15	本多 茂	山形県	酒田市議会議員 (まちづくり戦略検討特別委員会委員長)		初参加	○
16	田中 廣	山形県	酒田市議会議員(総務常任委員会)			○
17	荒生 令悦	山形県	酒田市議会議員 (議会改革推進特別委員会副委員長)			○
18	高橋 正和	山形県	酒田市議会議員(建設経済常任委員会副委員長)			○
19	小松原 俊	山形県	酒田市議会議員(総務常任委員会委員長)	実行委員長		○
20	池田 博夫	山形県	酒田市議会議員(民生常任委員会副委員長)			○
21	門田 克己	山形県	酒田市議会議員(議会運営委員会委員長)			○
22	後藤 仁	山形県	酒田市議会議員(議長)			○
23	五十嵐 英治	山形県	酒田市議会議員 (まちづくり戦略検討特別委員会副委員長)			○
24	齋藤 直	山形県	酒田市議会議員(議会法編集委員会副委員長)	幹事		○
25	大壁 洋平	山形県	酒田市議会議員(建設経済常任委員会)	推進委員		○
26	田中 斉	山形県	酒田市議会議員(建設経済常任委員会)	推進委員		
27	阿部 ひとみ	山形県	酒田市議会議員(総務常任委員会)			
28	大條 一郎	福島県	伊達市議会議員(産業建設常任委員会委員長)		初参加	
29	吉田 一政	福島県	伊達市議会議員(総務生活常任委員会)		初参加	
30	滝沢 福吉	福島県	伊達市議会議員(文教福祉常任委員会)		初参加	
31	吉田 恵三	福島県	会津若松市議会議員(建設常任委員会)	幹事		○

第21回 清溪セミナー

住民主体の地方自治を進める議会・議員セミナー開催のお知らせ

平成9年2月、竹下登元首相と細川護熙元首相を講師に迎え、第1回清溪セミナーを開催しました。膨らむ国の借金財政や少子高齢化時代の到来を迎え、地方自治体の自治能力と地方議会の在り方を問うセミナーでありました。それから19年。セミナーでは国や地方政治における課題に対して専門家をお呼びして研鑽を重ねてまいりました。

今回のセミナーでは「児童虐待の実情」「地域住民による地域づくり」「すべてを奪い取った大地震からの復興」を通して「地方交付税制度の役割」について再度考えてみようと思います。

清溪セミナー実行委員会は、住民の目線に立ち、自治体の政策形成におけるチェック機能を果たす議会の強化を目指し、一流の講師による専門的な知見を学ぶと共に志の高い意欲を持った参加者同士によるディスカッションをもとに、議会人同士のネットワーク化を図るために第21回清溪セミナーを開催いたします。

皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

第21回清溪セミナー実行委員会

委員長 小松原 俊(山形県酒田市議会議員)



開催要項

日程

第1日目 平成28年11月17日(木)

- 12時：受付
- 12時30分：開講式
- 13時～「児童虐待問題に切り込む～医療の現場から見える課題～」
- 15時～「地方交付税制度の役割を考える」
- 16時40分～「福岡政行特別講演」
- 8時～名刺交換パーティー

第2日目 平成27年11月18日(金)

- 9時30分～「行政に頼らない地域創生の実践報告」
- 13時～「復興が日本を変える」
「牧之原市 住民主体の津波防災まちづくり計画」
- 16時～閉講式

募集定員 / 参加申し込み締切

100名 / 平成28年10月31日(月)必着

事務局

(一財)日本青年館総務課(江口/松尾/小森)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-23-6 秀和虎ノ門三丁目ビル

電話 03-6452-9015 FAX 03-6452-9016

E-mail: seikei-seminar@nippon-seinenkan.or.jp

http://www.nippon-seinenkan.or.jp/seinenkan/

参加費

25,000円(パーティー参加費、食事は別途)

講師(予定)

福岡政行(東北福祉大学特任教授)

石原信雄(一財)地方自治研究機構会長)

岡本全勝(福島復興再生総局事務局長)

西原茂樹(静岡県牧之原市市長)

豊重哲郎(鹿児島県鹿屋市「やねだん」自治公民館長)

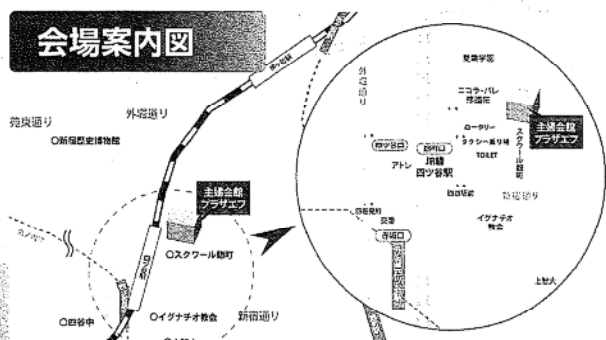
大矢崇志(福岡県飯塚市・(株)麻生飯塚病院小児科診療部長)と
飯塚病院AI-CAPチームの皆さん

会場

主婦会館プラザエフ 9階

東京都千代田区六番町15番地 電話 03-3265-8111

会場案内図



第21回 清溪セミナープログラム

第1日目 11月17日(木)

※日程および講師につきましては、政局等により変更することがあります。

12:00

受付

12:30 ~ 12:45

開講式

13:00 ~ 14:30

講座Ⅰ「児童虐待問題に切り込む～医療の現場から見える課題～」

講師：(株)麻生飯塚病院小児虐待防止委員会(通称:AI-CAP)



大矢崇志
(小児科診療部長)



津村由紀
(児童虐待専門
コーディネーター)



山野淳子
(児童虐待専門
コーディネーター)

(株)麻生 飯塚病院

福岡県飯塚市にある総合病院。平成18年、飯塚病院に小児虐待防止委員会(通称:AI-CAP)を設立。平成25年に県の児童虐待拠点病院に指定される。平成26年には外部の医療機関以外との連携を図るためCPTを立ち上げ、昨年から飯塚市の要保護児童対策協議会に病院として参加。

14:30 ~ 14:45

休憩

15:00 ~ 16:30

講座Ⅱ「地方交付税制度の役割」

内容：「地方交付税制度の成り立ちと意義について詳しくお伝えするとともに、議会及び議員への期待についてお話ししたい。」



講師：石原信雄(一財)地方自治研究機構会長 元内閣官房副長官

●大正15年群馬県生まれ。東大法学部卒業後、地方自治庁入庁。●茨城県、鹿児島県で財政課長、岡山県総務部長自治省財政課長、大臣官房審議官等を歴任して、昭和59年～61年に自治事務次官。●昭和62年7月に竹下内閣の内閣官房(事務)に就任。以後、宇野、海部、宮澤、細川、羽田、村山の7つの内閣で副長官を務めた。●平成8年より地方自治機構理事長、平成18年より現職。

16:30 ~ 16:40

休憩

16:40 ~ 18:00

講座Ⅲ「特別講演」

内容：「参議院選挙、東京都知事選挙そして1強の安倍政治を語る」



講師：福岡政行(東北福祉大学特任教授)

●昭和20年東京葛飾区生まれ。●早稲田大学卒業。駒澤大学助教授等を歴任し、白鴎大学教授。東北福祉大学特任教授。●清溪セミナー常任講師。●著書「日本の選挙」早稲田大学出版等多数。

18:00 ~ 19:30

名刺交換パーティー

第2日目 11月18日(金)

9:30 ~ 11:00

講座Ⅳ「地域再生 行政に頼らないむらおこし」～やねだんの取り組み～

内容：「リーダーは勇気と執念、アイデアとポリシーを持っていないといけない。言ったことは即、実践。自らの汗、行動以外の何者もない」



講師：豊重哲郎(鹿児島県鹿屋市串良町柳谷自治公民館長)

●昭和17年鹿児島県串良町生まれ。●昭和35年鹿児島県立串良商業高校卒業、東京都民銀行入社。昭和46年Uターンして串良町でうなぎ養殖を始める。●昭和56年うなぎ専門店「うなぎの川豊」創業。●昭和60年民間主導型「串良やったる会」柳谷自治公民館長として行政に頼らない「村おこし」を実践中。

11:00 ~ 12:00

質疑応答

12:00 ~ 12:50

昼食

13:00 ~ 13:40

講座Ⅴ 基調講演「復興が日本を変える」

内容：「阪神淡路大震災 東日本大震災 熊本地震と続いた大地震。復興庁事務次官として取り組んだ東日本大震災から5年の動きを伝える。」



講師：岡本全勝(内閣官房参与 福島復興再生総局事務局長 前復興庁事務次官)

●昭和30年奈良県明日香村生まれ。●東大法学部卒業後、自治省入省。●鹿児島県財課長、富山県総務部長、総務省総務課長、総理大臣秘書官などを歴任。●平成23年東日本大震災・被災者生活支援本部事務局次長、以後5年間にわたり大震災の復興に携わる。

13:45 ~ 14:45

実践報告「住民主体の津波防災まちづくり計画」の作成

内容：「牧之原市では、市民が中心となり、沿岸5地区が「津波防災まちづくり計画」を、静岡空港がある坂部地区が「地区まちづくり計画」をそれぞれ作成している。いずれも牧之原市独自の「男女協働サロン」(ワークショップ)での対話をもとに市民ファシリテーターが中心となり合意形成を図った。そのベースにあるのが「自治基本条例」であった。



講師：西原茂樹(静岡県牧之原市市長)

●昭和29年生まれ。●相良町議、静岡県議を経て、平成17年から市長。現在3期目。●静岡県市長会副会長(H28.4～) ●静岡県港湾振興会副会長 ●(一社)静岡県環境資源協会副会長 ●(公財)山崎子ども教育振興財団代表理事 ●(公財)山崎自然科学教育振興会評議員 ●(一社)鈴木梅太郎博士顕彰会理事。

14:50 ~ 15:50

会場との質疑応答

16:00 ~ 16:30

閉講式

第 2 1 回 清 溪 セ ミ ナ ー 資 料 集

◆ 清 溪 セ ミ ナ ー

平成 9 年、日本青年館より青年団 O B の若手議員に呼びかけて超党派による実行委員会が発足。地方政治家としての勉強の場とネットワーク化を図るために山中湖にある日本青年館分館「山中湖畔荘 清溪」に於いて第一回清溪セミナーを開催。

「清溪」という冠は、城山三郎の小説「男子の本懐」のモデルとなった元日本青年館理事長で大蔵大臣、日銀総裁を歴任した井上準之助の雅号であり、会場地の名称でもあることと「政経」の意味も含めて付けられた名称である。2泊3日という寝食を共にした他に類のない清溪セミナーは、平成 28 度で 21 回を迎え、全国各地の首長や若手の政治家、とりわけ女性の参加も増えてきている。また、インターネットを通じた情報交流も始まっている。日本青年館は会場、宿泊、事務局と全面的な支援を行ってきたが、平成 27 年から 28 年にかけての 2 年間は、日本青年館が移転改築中のため、会場を別ホテルに移して開催する。

参加者氏名

佐々木 哲夫

第 2 1 回 清 溪 セ ミ ナ ー 実 行 委 員 会

原本は佐々木議員に返却

活動結果報告書

3-1
3-2
3-3
3-4

平成28年11月4日

越前市議会

議長

城戸茂夫

殿

議員氏名

佐々木哲夫

印

下記のとおり報告します。

日程 平成28年11月23日(曜日)～平成 年 月 日(曜日)

活動先

市内全戸(配布(新聞)机込み)

活動目的

未来広報印刷

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、横断用紙を用いる。)

未来広報を印刷し市内全戸新聞新聞机込み
(対象: 福井新聞と中日新聞新聞)

越前市議会

会派『未来』主催 市民と語る会開催

『新庁舎に期待する！』

皆さんは、現在地に新しく建設される新庁舎の建物に
どんなことを望んでいますか？

○まちなかの活性化につながる新庁舎。

○シンボルになるような新庁舎。

高いビル、低層の建物、鉄筋、木造などなど、

皆さんは、どう考えられますか？



今年初め、公用車駐車場として現在建設中の第3庁舎跡地の発掘現場で、紫式部が住んでいた平安時代の国府に関すると思われる建築物の大きな柱跡や、戦国～江戸時代の前田利家や本多富正に関係すると思われる遺物や文化遺跡が出てきました。

これらの国府や府中城跡地は、まさに！「古代からのメッセージ」であると私たちは考えます。

新庁舎は、これらの歴史をしっかりと活かし『さすがに国府に相応しい！』と、歴史と伝統にマッチした「越前市らしい建物」を目指したいものです。

と き

5月30日(月) 午後7時30分～9時

ところ

武生商工会議所 3階 会議室

内 容

〈第一部〉ミニ講演・真柄甚松氏(郷土史家・市史編さん委員)

〈第二部〉皆さんとの意見交換会

私たちの新庁舎建築に対する提案

今回の発掘結果を受け、本来ならば、公用車の駐車場建設を見直し、建設場所の再検討に入るべきである。

しかし、すでに、工事発注済みであり、新庁舎建設に向けた基本設計に取り組んでいる現状を踏まえ、これまでの発掘結果を古代からのメッセージとして受け止め、今後の新庁舎建設について、次の点を提案する。

- ①発掘された『のずら積み』の石垣を復活し、それにふさわしい修景を造成すること。
- ②国府の歴史に相応しく、府中城風で、木造をふんだんに使った低層の建物とすること。
- ③身の丈に合ったコンパクトな建物にすること。
- ④役所機能について、アルプラザ4階やセンチュリープラザ2階のフロアーを積極的に利活用すること。
- ⑤新しくなる本庁舎への来場増加を踏まえ、駐車場を計画である120台(現在の台数)から増やすこと。
- ⑥市民利用機能フロアーや設備の運営については、市民団体との連携を積極的に図ること。

『会派:未来』議員の「3月議会を終えて！」

福田 往世



越前市は、将来の地域づくりを位置づける重大な時期を迎えております。

新庁舎、今立総合支所、体育館建設、中央公園再整備、中心市街地活性化、新幹線南越駅周辺整備など、大型プロジェクトに取り組んでおります。

多額の投資によるまちづくりの未来は、果たして、栄えある越前市となるか？市民の皆さんと、しっかり考えていきたいと思ひます。

片粕正二郎



北陸新幹線・新庁舎建設対策特別委員会 委員長報告(抜粋)

新庁舎建設について、委員から、3月末から開催の基本設計・市民ワークショップについて、大人と中高生のグループに分けた質問に対して、福祉や防災など各分野の方、庁舎利用の団体、将来に向け、中高生も参加のワークショップを行うとの市の答弁。

今立総合支所改築・市商工会位置づけについての質問に対し、商工会でも議論され、規模、予算等市とお互いに合理性を持った一番よい方法を協議し基本計画に反映したいとの市の答弁。

伊藤 康司



現在、市では、体育館建設、中央公園再整備、新庁舎建設と大規模なプロジェクトが進められています。

特に、現在基本設計が進められている新庁舎については、熊本地震の報道を見ていると、木造住宅が倒壊し、通学路をふさぎ、子供たちが迂回して通学する現状でした。

木造住宅が密集している現在地での建設が、本当に市の防災に対する危機本部となる本庁舎として良いものか？災害時の市民対応を思うとき、今一度再考することが必要でないのかと考えます。

中西 眞三



越前市のまちづくりや人づくりで、今後の目指す視点を考えると、疑問の多い議会でした。議員生活18年の中で、大きな危機意識を持ちました。

市政運営の最大目的は、『市民の最大幸福』です。それは、安心・安全、快適な暮らしの実現であると考えています。

そのため、市民から選ばれた市長が市政を運営し、議会がしっかりチェックする。

しかし、その機能が十分果たされないまま、提出議案が可決されていく今議会の現実を見て、大きな懸念を抱きました。

西野与五郎



医療費の増大による国民健康保険特別会計の繰り出し金が増え、市の一般会計の歳出増の要因となっています。今後も高齢化や医療の高度化により、医療費の増大が続くことから、市民総参加による健康づくりや介護予防の取り組みが求められます。

毎年、約4千人のランナーがエントリーする菊花マラソンが、今年35回大会を記念し、新(村国山)コースを設けて開催されます。このコースは、市民のシンボルである村国山を走るもの。安全対策には十分な配慮を要望しました。

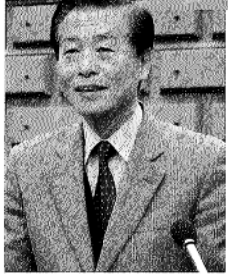
小形 善信



総務委員会に審議委託された案件のうち、旧第3庁舎跡地の公用車駐車場建設において、平安時代から戦国時代、江戸時代に由来される遺跡発掘の件について、市は、前議会にて承認済みと、事業着手優先の判断を主張しました。

総務委員長として、審議が必要と判断し、現場にて文化財調査員説明の所管事務調査会を開催して、全議員で現状を共有したいと思ひましたが、過半の参加になり残念です。今後は、教育委員会の将来に向けた遺跡活用の判断を期待します。

佐々木哲夫



3月議会は、当初予算として、大型建設事業の関連予算、国保や介護など市民福祉関係の費用も含め、最大予算が可決されました。学校の耐震化工事が終わり、今後は、市民利用による公民館などの公共施設の雨漏りや老朽化対策を含めた耐震化工事が待ったなしです。

1年延期で4月から約10%値上げの国保会計は、昨年度、補正に加え、年度末には専決による追加支出もなされました。今後の運営は厳しく、しっかりとした対応が迫られます。

私たちは、ビックプロジェクトが続く今、このまちの未来について考えたいと思ひます。

あとがき

3月議会で議論となった公用車駐車場建設に引き続き、計画の中の新庁舎建設については、昨年、基本構想・基本計画が策定され、現在、基本設計が進められています。

まちなかの活性化やシンボルとなる新庁舎には、越前市の歴史と文化をしっかりと踏まえ、市民に愛される建物を望みたいものです。

私たち、会派『未来』は、現在、本市にとって大切な課題である『新庁舎』について、市民と語る会を開催するなど、市民の皆さんの声を市政にしっかりと反映していきたいと考えています。

ご支援ご協力を、心からお願いいたします。

28年11月27日

議長 城戸茂夫 殿

議員氏名 佐々木 哲夫 印

日 程 28年11月27日(日曜日)～ 月 日(曜日)

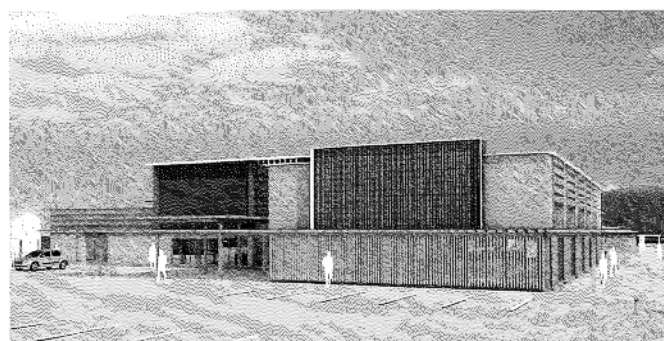
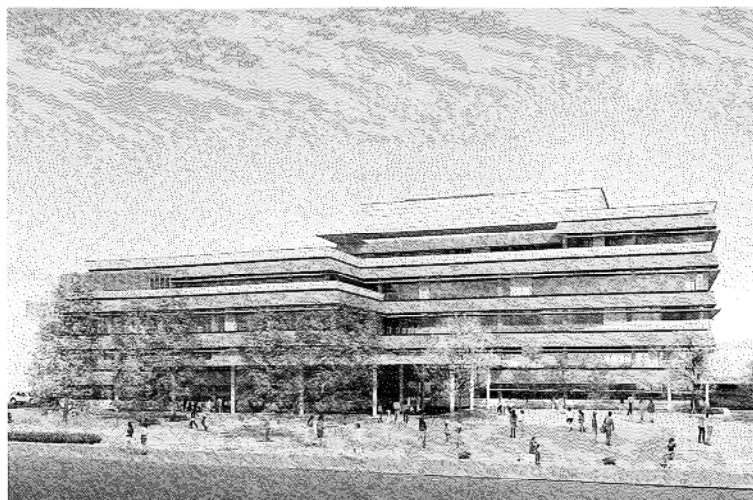
活動目的 会派未来の会報を印刷・配布

@ 2 1 6, 8 6 4 円 / 5 = 4 3, 3 0 0 円 / 人

未来 REPORT

市議会報告 vol.4

〔発行〕
越前市議会
会派「未来」
小形善信
福田往世
伊藤康司
中西眞三
佐々木哲夫



これからの市のあり方～都市計画のゆくえ

まず、武生のまちなか活性化が一番！

先般、越前市中心市街地活性化基本計画が策定されました。

武生のまちなかに人が住むため、出店をはじめ様々な誘導支援策を図り、にぎわいを取り戻す計画です。

この計画を国に提出し、これから支援を要望するものです。主な内容は、

- ① 新庁舎の建設
- ② 北府駅周辺のまちづくり
- ③ 中央公園など市民が賑わう場づくり
- ④ 工芸の里構想推進事業
- ⑤ まちづくり会社の活躍
- ⑥ 庁舎前の4車線道路を2車線にし、庁舎前の広場と一体となる賑わいゾーン作り

滋賀県長浜市の黒壁など、全国各地において、まちがにぎわいを取り戻した事例を見ると、そこには、必ず、まちなかの人々の熱い願いがあり、情熱と行動で率先して取りまとめるリーダーの存在があります。

武生のまちなかでは、ワークショップに参加した市民の声も参考にしながら、市が中心となって中心市街地活性化計画が作成されています。この取り組みで、まちなかは、期待通り賑わいを取り戻すことができるでしょうか。

まもなく始まる各種パブコメ！まちなかを含め、越前市全体のまちづくりに市民の意見が反映される！

現在、越前市都市計画マスタープランと立地適正化計画づくりが進められています。関係団体や有識者で構成される『策定委員会』は、これまで5回開催されました。

都市計画マスタープラン策定委員会で、委員長から指摘され、修正が図られた。

11月7日の第4回委員会において、委員長より、計画案の中で、今立の記述や位置づけがないことを指摘されました。市は、再検討の結果、修正を図ることになり、予定の都市計画審議会は延期。翌週16日に第5回委員会を開催。東部(今立)地域のまちづくりに関する記述が加筆修正されました。策定委員会を傍聴し、この間の市の考えの紆余曲折について、市民の皆さんに理解して頂けるのか？大きな不安を感じました。

今回の計画では、武生のまちなかを活性化するために、用途地域の中に、都市機能誘導区域と居住誘導区域を設定しています。特に都市機能誘導区域には、様々な施策を投入し、都市機能を集約する狙いがあります。

ネットワーク型コンパクトシティと謳っているものの、武生のまちなかは、都市機能誘導区域であり、**中心拠点**と位置づけ、賑わいを図ります。また、総合支所を建設する複合施設周辺は、東部地域のまちづくりを進める意味で、**地域拠点**としました。

しかし、それ以外の地域の位置づけが、今の計画では、明確に示されていないと感じます。

越前市のまちづくりは、自治振興会が活躍する小学校区を土台として築いてきました。武生のまちなかや総合支所周辺のみでなく、今後の新幹線駅周辺地域、商工会議所はじめショッピングセンターや住宅地が張り付く国高地区や吉野地区など、市街化が進む地域をはじめ、各小学校区のまちづくりなど、市全域のまちの位置づけを明示することにより、周辺地域住民の理解につながるのではないのでしょうか。

まちなかのにぎわいを取り戻せるか！

越前市の顔として、JR武生駅前の現庁舎を約70億円(平成28年10月現在・今後大幅な増額が見込まれている)の事業費で、本庁舎建設事業が推進されています。平成32年(2020年)3月迄を工事期間と定め、現在、市民ホール、生涯学習センター、東公民館の解体撤去工事が施工されています。併せて、第3期越前市中心市街地活性化基本計画を策定しました。計画期間は、平成28年12月から平成34年(2022年)3月迄の5年4ヶ月の計画となっています。

主要事業は

1. H32 完成目標の新庁舎建設事業
2. H30 完成目標の武生中央公園再整備事業
3. H32 完成目標の北府駅鉄道ミュージアム整備事業
4. H31 完成目標の工芸の里構想(クラフトツーリズム事業他)

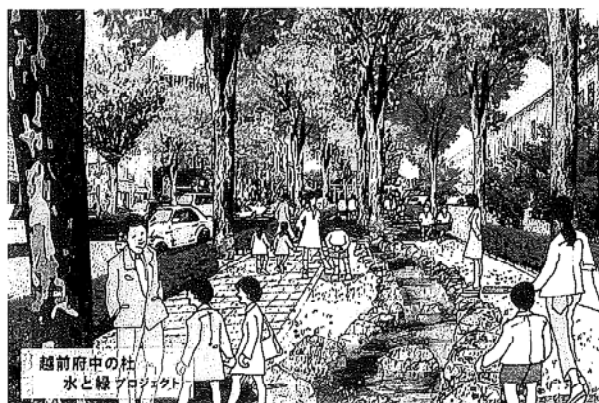
推進事業・5商店街活性化プランに基づく一連の事業

としました。そして、現市役所前の道路について、現行の4車線の中央分離帯を撤去し(県の同意を得る)、2車線として、幅広な歩道を整備する方向性を新庁舎建設と重ねて示しました。多くの市民より、越前市(旧武生市)は、約400年前の「越前府中」時代に築かれた、「中心街道の町用水と松並木」の一部復活を求める声が発せられています。この声に、市は、庁舎前の道路には多くの地下埋設管(下水管、ガス管、上下水道管、排水路、NTT管等)があるので、「町用水の復活」は施工出来ないとして、幅広の歩道を整備したいと公表しています。

しかし、現状の地下埋設管を調査すると、多くの空間がある事が分かってきました。更に、埋設されている老朽管の更新と移管を計画的に施工すればローコストに町用水の整備も出来る事も分かって来ていますが、残念ながら市は幅広の歩道を整備すると言いつつ、続けています。駅前の「町用水と松並木」の復活が、越前市の歴史と文化の「在るべきまちづくりの姿」への一步につながることを、市は考えていないようです。

中心市街地基本計画の主要事業は、目先の箱物事業が中心で、中心市街地で生活している市民目線の導入は希薄となっています。市民からのパブリックコメントに多くの声が集められたにも関わらず、事業化はほとんどされていないようです。

中心市街地には数多くの寺社仏閣(寺や神社の地域存在密度は全国トップクラスの密度で存在しています)がありますが、計画の中では生かされていません。更に、越前市(旧武生市)の特色や特長である「1300年の歴史に裏打ちされた越前国府と越前府中」の歴史的史実を全く生かしていません。先人達の脈々と築いて継承してきた遺産(レガシー)が反映されていない計画と言えます。



越前市

平成28年11月現在

都市計画マスタープラン改定
及び立地適正計画策定

「持続可能

越前市人口
83,075人

計画日程がタイトな
市民ホール解体と遺跡発掘
越前市役所本庁舎

市民ホー

基

東部の地域拠点？
今立総合支所

実施設計

特急とまるか？JR在来線
不便は確実

丹南の玄関口
期待に応えられる南越駅となるか？
北陸新幹線駅と周辺整備

(機構)測量

(越前市)測量

市民の願い、急がれる雨漏り対策
各地区公民館
(屋上防水工事等)

王子保・北新

現在工事

公共施設

冬季も含め、市民の憩いの場となりえるか？
越前市中央公園
(新体育館・庭球場等改修含む)

工事中 市民

体育館完

期待と不安
新ごみ処理施設整備事業
(南越前町上野地係に新設)

整備計画 用

入札

2016年11月

の半世紀に一度のまちづくり主要整備事業タイムスケジュール

半世紀に一度のまちづくり…市民の為の様々な事業…しっかり注視しましょう！



予想

(平成28年11月22日現在)

平成35年度 予想されている事業費他

中心市街地は果たして
活性化するのでしょうか？

平成37年推定 78,400人

本体工事費 70億円
東側道路等工事除く
(推定最終試算 100億円以上)

本体工事費 11億円以上
周辺整備工事で増加見込

第3セクター出資比率未定
特急しらすぎ・サンダーバードは
存続できるのでしょうか

越前市の負担未定
インターチェンジからの
取付道路他課題は多い

耐震等工事金額は総額100億以上推定

新体育館建設事業費 31億円
中央公園(市民の広場他)16億円
その他周辺整備事業費未定

総事業費235億円の内
越前市負担分 約200億円

2023年

会派「未来」、国の政策を学ぶ

— 地元選出国會議員に支援要請 —

8月23日 於：参議院会館・会議室ほか



1. 内閣府

補正予算28兆円1,000億円の経済対策の趣旨と概要
越前市の取り組みへの指導

☆説明者 横山氏、萩原氏(政策統括官付・政策企画専門職)

- H28地方創生加速化交付金の概要と全国の自治体の取り組み状況の説明。
これまでの創生交付金の全国的な取り組み状況と今後の留意事項の指導。

2. 経済産業省

中心市街地活性化計画の全国成功事例における、成功と失敗の事例検証

☆説明者 関氏(経済産業省・中心市街地活性化室室長補佐)

- 国内における中心市街地の取り組み状況、成功事例と失敗事例をもとにした検証について詳しく説明を受けました。特に、成功事例には、しっかりとした取り組みがあり、人材がいる事を改めて認識。また、越前市の取り組みについて、非常に具体的な指導も受けました。

3. 国土交通省

国の重要文化財に指定された紙漉き道具の収蔵庫整備に関する、国支援のありかた

☆説明者 山口氏(国土交通省 市街地住宅整備室 企画専門官)

- 地方公共団体が行う、建築物の耐震化改修事業に関する支援制度の概要説明。
例えば、紙の文化博物館の耐震改修については、拡充も含め、国の支援対象となる可能性があるとの説明がありました。

裏面のアンケートにご協力ください。

今後の議会活動に活かすため、皆さんの忌憚のないご意見をお願いします！



料金受取人払郵便

武生局承認

2841

差出有効期限
平成29年2月
18日まで

《切手不要》

郵便はがき

9158790

会派：未来 会長

小形善信宛

越前市塚町三十一九

ミシン目に沿って切り取ってお出し下さい。



福田 往世

丹南は一つ

丹南地域は、県内の中央に位置し、人口約20万人を有する地域です。古来、男大迹(おおとの)皇子や継体大王にまつわる文化、越前国府に関する文化、それら全てがつながっていることから『丹南は一つ』との深い認識が根付いていました。

さらに、この地域は、1,500年にわたる和紙や打ち刃物、漆器、焼き物などの伝統の技、それに纏わる伝統文化や行事、食文化等、豊富な文化資源を継承しています。

現在、全国において、国が主導する地方創生、一億総活躍をはじめとする創造的な地域づくりが求められており、県内でも行政と住民が一体となったユニークな取り組みが進められています。

そこで、この丹南地域においても、歴史を踏まえ、文化、産業、自然を生かした観光や食文化など、他の地域にはない様々な資源を有効活用することが求められています。

それを活かす方策として、国道417号線や新幹線の南越駅(仮称)があります。まさに越前市や鯖江市がリーダーシップを図りながら、隣接町と共に、積極的に取り組みことが求められていると感じます。

人口減少が今後益々進み、地域の衰退化が叫ばれる中、この地域を母体とし、相互に力を合わせて活性化を図る『丹南は一つ』の取り組みが、まさに正念場を迎えています。

伊藤 康司

友好都市

高山市の観光行政から考える

越前市議会は、10月6日に友好都市である高山市を訪れ、越前・高山両市議会議員による観光行政に関する意見交換会を行いました。人口に関しては、越前市8万3千人に対し、高山市9万人と大きな差はないものの、観光入込客数では、越前市の約4倍の430万人で、特に外国人の36万4千人(H27)は、驚くべき数字であります。

高山市の外国人誘致対策を聞きますと、行政組織の中に、『ブランド・海外戦略部』が設置されており、海外にも職員を派遣し、積極的な展開を図っています。

特に、最近急増している外国人観光客に対して、インターネット接続環境の整備や、観光・緊急情報の積極的な情報発信をしており、安心して高山を訪れ滞在できると喜ばれているようです。

両市の大きな違いとして、高山市には、全国的に著名な高山祭(春秋に開催)や奥飛騨温泉郷をはじめ、数多くの温泉郷を有していることですが、越前市にとっては、今後開催される福井国体、北陸新幹線南越駅(仮称)の開業、中部循環自動車道の全線開通をチャンスととらえ、国内外の旅行者をいかに取り込んでいくかが問われていると同時に、この機会を活かす工夫が求められています。

会派「未来」

アンケート

性別 男性・女性 年齢 歳

該当することに○を付けて下さい。

Q1 あなたは、市の方針である、本庁舎を現在地に建設する事やまちなかに人々を集める『中心市街地活性化』の取り組みに対して、どうお考えですか？

・とても良い ・良い ・わからない ・悪い ・とても悪い

Q2 現在考えられている、新幹線駅周辺整備や市東部のまちづくりは、どうお考えですか？

・とても良い ・良い ・わからない ・悪い ・とても悪い

Q3 議会や議員活動についてどうお考えですか？

・とても良い ・良い ・わからない ・悪い ・とても悪い

Q4 あなたは、下記の市事業のどれかに参加されましたか？

・菊人形 ・サマーフェスティバル(花火・踊り)
・菊花マラソン ・食の感謝祭

その他、市政や議会活動に関してのご意見をお願いします。

中西 眞三

幼稚園並びに小学校の 普通教室へのエアコン設置を求めて

越前市は、市長の政治決断にて各中学校へのエアコン設置を決め、設置が全て完了しましたが、今だに各幼稚園、小学校の普通教室は、エアコン未設置状況にあります。

「何故、中学校は設置され、幼稚園、小学校は未整備なのか？」との一般質問に対し、市は「厳しい財政状況と教育施設全体の視点から、小学校のエアコン設置への重要度や緊急度等を総合的に検討する。更には、教育委員会の検討課題として市長部局への意志決定を待っている状況」との旨の返答がなされました。しかし、教育委員会関係者からは、保護者や教職員関係者の声として、以前からエアコン設置については市長関係者に強く要望していると聞いています。しかし、市は教育委員会からエアコン設置への意思決定と要望の声などは聞いていないとの事であり、大きな矛盾がここにあります。

市長部局に、市教育総会議という機関があり、教育行政への関与と政策決定に、風通しの悪い現状が存在していると思われる、多くの幼稚園、小学校の関係者の強い要望が伝わっていないところに問題があると言えます。

エアコン設置に向けて、関係者に対し、現場の声を聞いて適切な判断をするように、私達は今後も強力に求め続けてまいります。

写真: 市議会議員 中西 眞三

小形善信

発達障害の方への支援について

本年7月6日に「発達障害者支援法」が改正されました。

この法は「障害者支援」に関する法律では対象となっていなかった知的障害や身体障害のない「発達障害の人」を対象としたもので平成16年に制定されたものです。

この支援法は、発達障害の方の年齢や障害の特性に応じた支援を自治体や国民の責務であると定め、対象の方を社会で総合的に支援することを定めています。

幼少期や学童・学生時代の早期発見と継続的な支援についての制度は概ね確立されようとしていますが、義務教育後に発達障害の方が成人し、就労しても続かなかったり、周りの方の理解が得られなかったりなどの問題も多くあり、当人はもとより親族の方々はいろいろな悩みを抱えておられます。保護者の方々へ実施したアンケートによりますと、8割の保護者が、特にご自身が亡くなった後の子の収入に不安を抱えておられるようであります。いわゆる「親亡き後の子の行く末」を案じての心配であります。

自治体には生涯にわたっての総合的な支援を行っていく必要があることから、議会にて質問しましたが、「発達障害の方を抱えていらっしゃる親族の方は、収入や住まい、仕事など、生活への不安があると思われ、「親無き後」の支援体制も十分ではないことから、実態を把握し必要な支援が出来る体制を整えられるよう努める」との回答でした。

私は、市内の1割強の家庭で身体障害や発達障害の悩みを抱えておられることと想定しています。今後とも議会を通して「障害者差別解消法」と「発達障害者支援法」に基づいた適正な実施を進め、社会での弱者の方々が「生き生きと暮らせる社会づくり」の為に努力してまいりたいと思います。

佐々木哲夫

議会一般質問から 本庁舎と総合支所

本庁舎と総合支所は、基本設計が終わり、市では、実施設計に取り組み中です。

現段階における、本庁舎と総合支所の建設関連事業総額と財源内訳を、市に質問したところ、答弁として、本庁舎事業は、合計71億3千万円程で、総合支所事業は、11億7千万円。総合計83億円程度になるとの説明を受けました。

3年前の市長選挙時には、本庁舎と総合支所建設の概算予想は、約45億円。1年前の基本構想時、総額80億円。基本設計を終えた段階で83億円との予測。

今後、実施設計時には、予算の増加はないのでしょうか？
現在、本庁舎敷地面積が足りない為、東側用地の買収計画があり交渉中です。もちろん予算は増加されます。

また、7月に開催された『本庁舎と総合支所の基本設計建設市民説明会』で、出された市民の意見は、残念ながらほとんど反映されていない状況であります。

本庁舎や総合支所の市民利用機能について、利用者の意見を聞き、設計や管理運営に反映するように求め続けてきましたが、現在まで、十分になされたとは決して言えません。

さらに、9月議会の一般質問に対し、市長から、「利用者、関係団体の意見を聞くことは、一部の意見であり、片寄った意見でもある」との答弁があり、大変びっくりしました。

公共施設建設は、市民の為であり、それを利用する市民に喜ばれる施設を作ることが求められています。

会派「未来」主催

市民と語る会を実施しました！

報告

テーマ『新庁舎に期待する！』

120名あまりの参加者で会場は満員となり、大盛況！

第一部 郷土史家で市史編さん委員の真柄基松氏を招き、国府や府中城など、越前市の歴史を紐解く中で、いかに、越前市が古代から栄えてきたのか？それをいかに掘り起こし、後世にしっかりと伝えていくことの重要性を力説されました。

第二部 会派の議員から、市が抱える課題について説明しました。

- 庁舎跡地の発掘調査と公用車駐車場建設について
- 中心市街地活性化基本計画策定の取り組みについて
- 新庁舎基本設計の取り組みについて
- 今立総合支所基本設計の取り組みについて
- 会派「未来」の「提言」について

その後、参加者との意見交換を実施しました。

日時：5月30日 19:30～ 会場：武生商工会議所

- ・庁舎跡地の発掘を今後どう活かすのか？
 - ・当初の計画であった東部に、なぜ庁舎を建てないのか？議会での議論はどうだったのか？
 - ・新庁舎が、中心市街地の活性化に本当につながるのか？
 - ・議会では、本当に真剣な議論が行われているのか？
 - ・会派「未来」の『市民と語る会』に参加したが、このような重要な議論は、もっと議会内で行われるべきではないのか？
- など、参加者からは、辛辣で厳しい意見が続出しました。
会派の議員が、一つ一つ丁寧に答えましたが、参加者の皆さんの中には、現状の市政運営について十分に納得できない方も多くおられました。



活動結果報告書

平成 28 年 11 月 4 日

越前市議会

議長

城戸 茂夫 殿

議員氏名

佐味 登夫 印

下記のとおり報告します。

日 程 平成 28 年 5 月 02 日 (月曜日) ~ 平成 年 月 日 (曜日)

活動先

武生商工会議所 JF

活動目的

市民と語り会

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、横罫線を用いる。)

報告書は別添資料

未来：市民と語る会

平成28年5月30日(月)午後7時30分～9時
商工会議所3階 会議室

会派未来は、5月30日に、『新庁舎に期待する！』と題して、市民と語る会を開催しました。参加者は、120名あまりで、会場は満員となり大盛況でした。

第一部は、郷土史家で市史編さん委員の真柄甚松氏を招き、国府や府中城など、越前市の歴史を紐解く中で、いかに、越前市が古代から栄えてきたのか？それをいかに掘り起こし、後世にしっかりと伝えていくことの重要性を力説された。

第二部では、会派の議員から、市が抱える課題について説明しました。

- 第3庁舎跡地の発掘調査と公用車駐車場建設について
- 第2期中心市街地活性化基本計画策定の取り組みについて
- 新庁舎基本設計の取り組みについて
- 今立総合支所基本設計の取り組みについて
- 会派「未来」の「提言」について

その後、参加者との意見交換を実施しました。

・第3庁舎の発掘を今後どう活かすのか？
・当初の計画であった東部になぜ建てないのか？議会での議論はどうだったのか？
・新庁舎が、中心市街地の活性化に本当につながるのか？
・議会では、どのような真剣な議論が行われているのか？
・未来の会派の市民と語る会に参加したが、このような重要な議論は、もっと議会内で行われるべきではないのか？ など、参加者からは、辛辣で厳しい意見が続出した。会派の議員が、一つ一つ丁寧に答えたが、参加者の皆さんは、十分理解できない方もおられてようであった。



4-2
4-3
4-4

様式第 4 号（第 5 関係）

活動結果報告書

29 年 2 月 14 日

越前市議会

議長 城戸茂夫 殿

議員氏名 佐々木哲夫 印

下記のとおり報告します。

日 程 29 年 2 月 12 日（日曜日）～ 月 日（ 曜日）

活動先 チラシを、市内（市街地・今立地区）に新聞折り込み

活動目的 市民と語る会チラシを印刷・配布

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 （不足のときは、補助用紙を用いる。）

市民と語る会を告知するために、チラシを印刷し、市内（市街地と今立地区）に新聞折り込み。

A4 判 10,000 枚

印刷代

@ 70,200 円 / 5 = 14,040 円 / 人

新聞折り込み代

@ 37,245 円 / 5 = 7,449 円 / 人

越前市議会「会派：未来」主催

『市民と語る会』開催のご案内

**昨年11月の未来会報で実施した「市政アンケート」による
市民の皆様からの貴重な声にこたえて開催します！！**

越前市では、現在、半世紀に一度といわれるまちづくりが、進められています。

体育館建設、中央公園再整備、庁舎と総合支所建設、清掃センター改築、それに新幹線駅周辺整備……

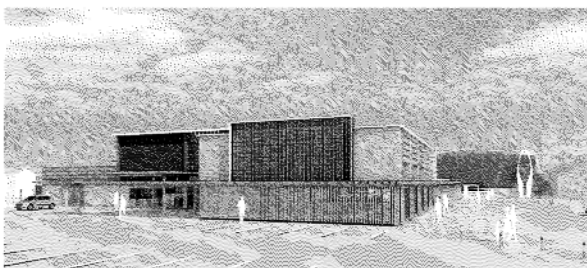
特に、本庁舎建設と総合支所建設を核とするまちづくりは、期待されています。

さらに、今後のまちづくりの方向を示す都市計画マスタープランをはじめ、多くの計画が進められています。加えて、各地区の公民館をはじめとする公共施設の集約や複合化などを含めた、市公共施設等総合管理計画にも取り掛かっています。

今回、私たち会派「未来」では、多くの市民の皆様方から頂いたアンケートにお答えすると共に、いまの市政や議会における現状をお伝えし、課題の認識や解決に向けて、市民の皆さんと更なる話し合いを強く望み、「市民と語る会」を開催します。

☆市政アンケートに、願いを込めてお答え頂いた市民の皆さまに、感謝いたします。

総合支所が核となるまちづくり

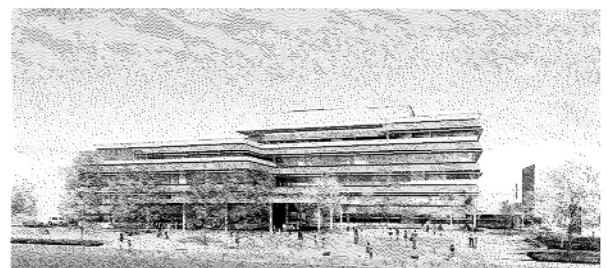


☆2月17日(金) 19:00

花筐公民館

- ・総合支所建設とまちの活性化
- ・継体大王を活かしたまちづくり

本庁舎建設が核となるまちづくり



☆2月18日(土) 19:00

東公民館 (東小学校北側)

- ・庁舎建設とまちの活性化
- ・商店街の振興と中心市街地の活性化

4-2
4-3
4-4

様式第4号（第5関係）

活動結果報告書

29年2月18日

越前市議会

議長 城戸茂夫 殿

議員氏名 佐々木 哲夫 印

下記のとおり報告します。

日 程 29年2月17日（金曜日）～ 月 日（曜日）

活動先 花筐公民館

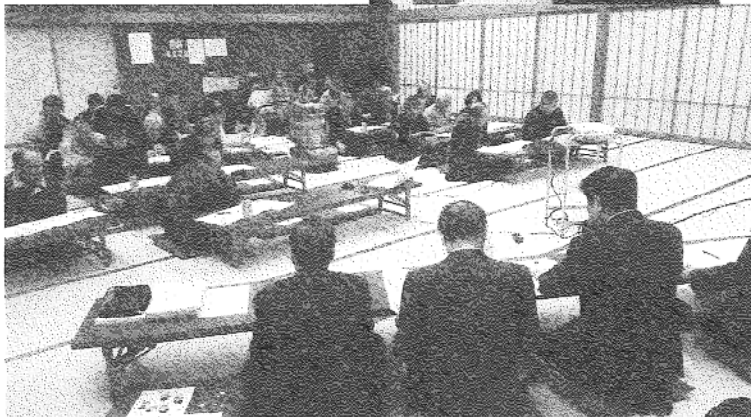
活動目的 市民と語る会 （会派・未来主催）

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 （不足のときは、補助用紙を用いる。）

開催概要及び感想、は別紙の通り

会派：未来 市民と語る会結果報告

2月17日(金)花筐公民館



参加者 58名 花筐公民館2階和室

☆参加者には、資料とお茶を配布。

○会派議員5人が分担して、進行と説明を担当。プロジェクターを使って説明。

内容は、・市の現状と課題

- ・半世紀に一度のまちづくり、巨大プロジェクトの概要
- ・市議会の実情と課題

意見交換の内容

- ・総合支所のワークショップに参加したが、殆ど市民の意見が反映されない。
- ・設計図面を見せないで、意見を求められたが、正直、意見反映は困難である。
- ・設計は、数案提示され、市民や関係者の議論の中で決まったのではないのか？
- ・アンケートの年齢はどうか？できれば、市政に若い方の声を反映できる対策をしてほしい。
- ・市民が参加できるには、どうしたら良いのか？具体的な手立てはないのか？

4-2
4-3
4-4

様式第4号（第5関係）

活動結果報告書

29年2月18日

越前市議会

議長 城戸茂夫 殿

議員氏名 佐々木 芳夫 印

下記のとおり報告します。

日 程 29年2月18日（土曜日）～ 月 日（曜日）

活動先 東公民館

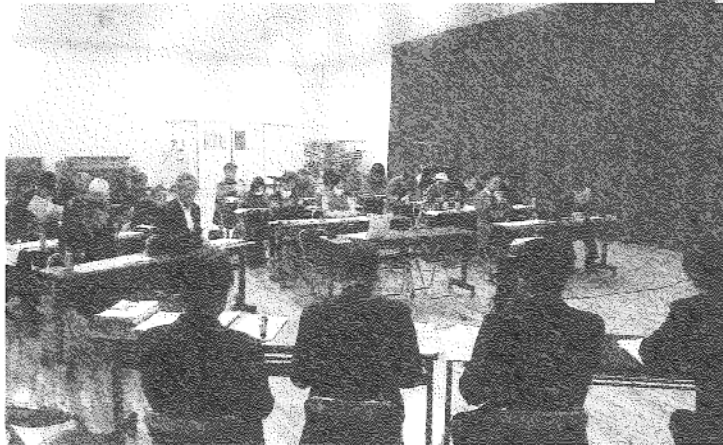
活動目的 市民と語る会（会派・未来主催）

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

開催概要及び感想、は別紙の通り

会派：未来 市民と語る会結果報告

2月18日(金)東公民館



参加者 41名 東公民館講堂

☆参加者には、資料とお茶を配布。

○会派議員5人が分担して、進行と説明を担当。プロジェクターを使って説明。

内容は、・市の現状と課題

・半世紀に一度のまちづくり、巨大プロジェクトの概要

・市議会の実情と課題

意見交換の内容

・人口減を考えた上での都市マス計画には、対策が明示されていない。示すべきである。

・半世紀に一度のまちづくりと称して、公共建築物ラッシュである。費用対効果を示すべきである。

・新幹線のアクセスは、何になるのか？結局バスか？

・公共施設等総合管理計画は必要だ。合併目的は、行革でなかったのか？職員減のみで対策はあるのか？

・他会派の語る会に出たが、今回はしっかり説明があり、良かったが、少し長い。参加者の意見を聞くべき。

・立地適正化計画を読んだが、よく理解できない。居住誘導区域設定は、非常に大きな問題である。

・そこにどう誘導するのかが、明示されていない。

・人口減少と税収減で、財源がないので、市民に我慢を求めるなら、早い段階で市民に分かりやすく説明する責任がある。

・議員は、市の追認では意味がない。このような重大な課題を、議員はしっかり議論してほしい。

・今回のような語る会は、今後何度かしてほしい。

・このように頑張っているのだから、5人以上の賛同者を集める努力をしてほしい。